

第14回定例会

大好評! わかりやすい「舞鶴の台所事情」でした!

～ 竹田茂さん(舞鶴市総務部次長兼財政課長) ～

8月26日(火)午後7時より中舞鶴総合会館研修室1にて「まい研」第14回定例会を、「舞鶴の台所事情」と題して、舞鶴市財政課長の竹田茂さんから市財政の状況と見方についてのお話を聞かせてもらいました。会員の皆さんの舞鶴市財政への関心も高く、いつもより多い参加者でした。

竹田さんが説明に使われた資料は、「広報まいづる8月1日号」に掲載されている平成19年度の決算見込みの資料です。ひとりで読んでも、なかなか分かりにくい決算資料ですが、竹田さんの説明を受けながらだとよく分かります。なぜかという、お話しが具体的なことと、分かりにくい財政用語を1つひとつ説明してもらいながら聞いたからだと思います。

平成19年度の決算見込みは、舞鶴市の1年間の収入は701億5,719万円、支出は684億1,737万円だそうです。収入の特長は、石炭火電の固定資産税が大幅に伸びたが、その4分の3の額が地方交付税からカットされるので収支は約10億円の増額とのこと。

(裏面に続く)

行け行け! かまぼこ調査隊

かまぼこの街 まいづる 再発見フォーラム

1. 日時 9月23日(火・祝)13:30～17:00
2. 会場 西駅交流センター3Fホール(JR西舞鶴駅)
3. 内容

(1) 報告

製造者ヒアリング調査、市民アンケート調査、提言

(2) フォーラム

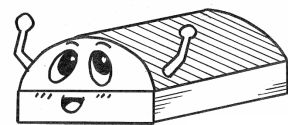
テーマ 「舞鶴かまぼこ」美味しさの秘密とにぎやかな街づくり

コーディネーター 岡田知弘さん(京都大学大学院経済学研究科教授)

パネラー 辻 義雄さん(舞鶴蒲鉾協同組合参事)

砂原由明さん(舞鶴市経済部商工観光課長)

品田 茂 (まいづる市民自治研究所代表)



かまぼこくん

会員の皆さんの参加をお願いします。

(表面から)

また、舞鶴は公務員が多いので府市民税収は比較的安定していますが、この不景気で法人税収は不安定です。

一方、支出の特長としては、やはり一般会計から市民病院への繰出額が大きいことです。以前の再建制度では、特別会計を除いた一般会計の赤字比率を中心に健全度を判断していましたが、財政健全化法の施行により、20年度から、特別会計を含むすべての会計を対象として判断することとなりました。



市財政を説明する竹田次長

市民病院事業会計では、18年度に不良債務が約20億円あまりあり、経営健全化計画の指標で定められた基準を大きく上回っているため、19年度に不良債務解消のため10億円を、20年度には8億6000万円を一般会計から補助することで、20年度末には資金不足が解消できる見込みとの説明がありました。その結果、市民病院は経営健全化計画の対象とはならない見通しです。この18億6,000万円もの多額の補助金は、財政調整積立金を取崩し措置しました。

市民病院は、広報などで呼びかけてはいるが、利用が少ないとの報告がありました。竹田さんは、「市民病院の赤字を減らすためには、市民の皆さんに利用していただくのが一番。医療体制も充実してきていますのでぜひご利用ください」と話されました。

舞鶴市の財政状況は、2億7,178万円の黒字です。財政の弾力性を示す「経常収支比率」も86.6%で、総合的な評価としては健全度は高いと言えます。しかし、国の政策がころころと変わる中で、これからの見通しが厳しいのも事実です。

参加された皆さんの感想を紹介します。「市財政については全く不勉強なので大変勉強になった」、「講師の話し方が歯切れよく、自信に満ちた話し方だったので好感がもてた」、「自分たちのまちの財政状況がどうなっているのかを知ることは大事なことなので、1年に1回くらいはこういう話を聞きたい」

来年も聞いてみたい「舞鶴の台所事情」でした。

「まい研」の第15回定例会の案内

1. 日時 10月28日(火) 19:00~21:00
2. ゲスト 品田茂さん(浮島丸殉難者を追悼する会)
3. テーマ 浮島丸事件から学んだこと

「まい研」の第4回総会の案内

1. 日時 11月12日(水)夜
2. 場所 西駅交流センター3F会議室2

うちやぶろう「構造改革」 いかそう憲法、くらしと地方自治に

第9回地方自治研究全国集会

10月18日(京都会館)~19日(京都市内)

第1分科会「地域経済の振興と自治体のはたす役割」で「行け行け!かまぼこ調査隊」が報告します。

